

平成 25 年 1 月 16 日

お持ちではありませんか？～未対応の無償改修・回収等対象製品～

製品による事故の未然・拡大防止のため、事業者により製品の無償改修・回収等が行われることがあります。しかし、こうした情報が行き届かなかったなどの理由により、消費者が対象製品を知らずに使い続け、事故が発生する場合があります。

消費者庁では、無償改修・回収等が行われている消費者向けの製品について、リコール情報サイトを開設し、情報を提供しています^{※1}。皆さまの御家庭にも該当製品があるかもしれません。折に触れて確認してください。もし未対応の該当製品をお持ちの場合は、直ちに使用を中止し事業者に連絡してください。

以下に、無償改修・回収等が行われている製品のうち、今年度消費者庁に事故情報が寄せられた製品のうち主なものをお知らせいたします^{※2}。

※1 URLにつきましては、本資料末尾を御確認ください。

※2 事故原因が無償改修・回収等対象事象によるものか確認中のものも含まれます。

1. 消費生活用製品安全法に基づく重大製品事故の報告から

消費者庁は、火災や重傷などの重大製品事故が発生した場合、消費生活用製品安全法に基づき、事業者から報告を受けています。そのうち、事業者により無償改修・回収等が行われていながら、平成 24 年度に 5 件以上の報告が寄せられたものは次のとおりです(消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について平成 24 年 12 月 28 日公表分まで)。

○株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社(現 TOTO株式会社)及び長州産業株式会社が製造した石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機

今年度、8 件(いずれも火災)の重大製品事故報告を受けています。

上記製品は、電磁ポンプの制御弁に使用されている Oリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に灯油漏れが発生、漏れた灯油に引火して火災に至るおそれがあることから、平成 14 年から各事業者において無償改修が行われています。

本製品の無償改修の対応状況は、平成 24 年 11 月 30 日時点で、約 93.0%(対象台数 374,264 台)です。

無償改修の対象製品は、同じ構造の電磁ポンプを有する石油給湯機等を製造した上記 3 社に加え、別ブランドでの販売もされていることから合計 9 社のブ

ランドによる製品となっています。表1及び図1を御確認いただき、該当する製品をお持ちで、まだ製造事業者が行う無償改修を受けていない方は、直ちに表1の連絡先にお問い合わせください。

表1. 対象製品に係るブランド名、会社名、連絡先、機種・型式名及び製造事業者名

〔ブランド名〕 会社名 連絡先	機種・型式名 (製造期間)	製造事業者名
〔NORITZ〕 株式会社ノーリツ 電話番号:0120-018-170 受付時間:9:00~19:00(平日) 9:00~17:00(土・日・祝日) ホームページ: http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html	OTQ-302*、OTQ-303* OTQ-305*、OTQ-403* OTQ-405*、OQB-302* OQB-305*、OQB-403* OQB-405* [平成9年(1997年)3月~ 平成13年(2001年)3月]	(株)ノーリツ
〔一〕 日立化成工業株式会社 (現 株式会社ハウステック) 電話番号:0120-551-654 受付時間:9:00~17:30(平日) ホームページ: http://www.housetec.co.jp/2002/10/ho-350.html	HO-350*、HO-360* HO-450*、KZO-460* [平成9年(1997年)3月~ 平成13年(2001年)3月]	
〔パーパス〕 高木産業株式会社 (現 パーパス株式会社) 電話番号:0120-575-399 受付時間:9:00~18:00(土・日・祝・年末年始を除く) ホームページ: http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html	AX-400ZRD [平成9年(1997年)3月~ 平成13年(2001年)3月]	TOTO(株)
	TP-BS320*D (ただし、TP-BS320は除く) TP-BS402*D TP-BSQ402* [平成7年(1995年)8月~ 平成11年(1999年)6月]	
〔TOTO〕 東陶ユプロ株式会社 (現 TOTO株式会社) 電話番号:0120-444-309 受付時間:9:00~17:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く) ホームページ: http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm	RPE32K*、RPE40K* RPE41K*、RPH32K* RPH40K*、RPH41K* [平成7年(1995年)8月~ 平成11年(1999年)6月]	
〔NEPON〕 ネポン株式会社 ※TOTO(株)で受付をしています 電話番号:0120-444-309 受付時間:9:00~17:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く) ホームページ: http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm	URA320、URA320S URB320、URB320S UR320、UR320S、UR404S [平成7年(1995年)8月~ 平成11年(1999年)6月]	
〔日本ボイラーメンテナンス〕 株式会社日本ボイラーメンテナンス社 ※TOTO(株)で受付をしています	UFA-333A(湯FO) [平成7年(1995年)8月~ 平成11年(1999年)6月]	

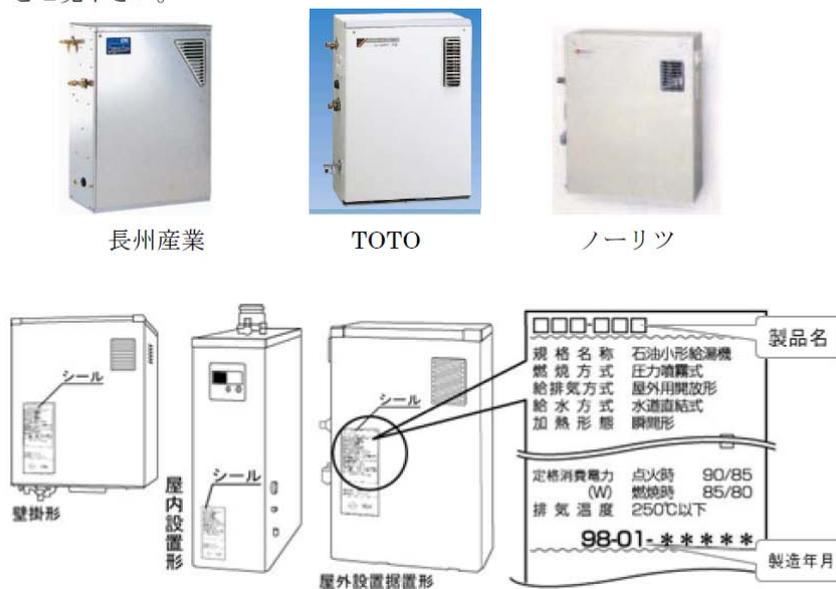
<p>電話番号:0120-444-309 受付時間:9:00~17:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く) ホームページ: http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm</p>		
<p>〔CIC〕長州産業株式会社 ※TOTO(株)で受付をしています 電話番号:0120-444-309 受付時間:9:00~17:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く) ホームページ: http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm</p>	<p>PDF-321V、PDF-401A PDF-411D-A、DX-411D PDX-321V、PDX-411D [平成7年(1995年)8月~ 平成11年(1999年)6月]</p>	
<p>※長州産業(株)で受付をしています 電話番号:0120-652-963 受付時間:8:00~17:00(土・日・祝日を除く) ホームページ: http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=3</p>	<p>PDX-403D、DX-403D PDF-403D、DF-403D DX-403DF [平成8年(1996年)5月~ 平成11年(1999年)10月]</p>	
<p>〔ツチヤ〕東京ツチヤ販売株式会社 ※長州産業(株)で受付をしています 電話番号:0120-652-963 受付時間:8:00~17:00(土・日・祝日を除く) ホームページ: http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=3</p>	<p>AX-402A、EX-403A FK-405A、FC-406A [平成8年(1996年)5月~ 平成11年(1999年)10月]</p>	<p>長州産業 (株)</p>
<p>〔ワカサ〕株式会社ワカサ ※長州産業(株)で受付をしています 電話番号:0120-652-963 受付時間:8:00~17:00(土・日・祝日を除く) ホームページ: http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=3</p>	<p>WBF-400C [平成8年(1996年)5月~ 平成11年(1999年)10月]</p>	

(注意) 機種・型式名の末尾の*には英数字が続きます。全て該当品です。

図 1. 対象製品の確認方法

該当機種（写真の一部）

- ・本体と製品名・製造年月日は器具本体前面にシールにて表示されています。
- ＊形状は各社により、排気部の形状など異なります。
- ＊掲載写真は一部ですべてではありません。詳細はメーカーのホームページをご覧ください。



○三菱電機株式会社、松下電器産業株式会社（現 パナソニックアプライアンス株式会社）及びサンウエーブ工業株式会社（現 株式会社L I X I L）等 13 社が製造した電気こんろ

今年度、6件（いずれも火災）の重大製品事故報告を受けています。

身体や荷物が上記製品のつまみ（こんろのスイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまうおそれがあることから、平成19年から各事業者において、つまみ（スイッチ部）の無償改修が行われています。

本製品の無償改修の対応状況は、全社合計で平成24年12月31日時点で、

- ・一口電気こんろ 改修率 95.9% (対象台数 530,401 台)
- ・上面操作一口電気こんろ 改修率 73.1% (対象台数 60,969 台)
- ・複数口電気こんろ 改修率 69.3% (対象台数 147,700 台)

です。

電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社は、平成19年6月20日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、改修を進めています。図2を御確認いただき、該当する製品をお持ちで、まだ製造事業者が行う無償改修を受けていない方は、直ちに図2の連絡先にお問い合わせください。

図2. 対象となる製品

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等でご使用の電気こんろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こんろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こんろ (前面操作) ※写真は富士工業製



一口こんろ (上面操作)



複数口こんろ (前面操作のみ)

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こんろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こんろメーカー (現社名)	電気こんろ品番
前面操作一口電気こんろ※1	サンウエーブ工業	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ホームアプライアンス (旧東芝ホームアプライアンス株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニックアプライアンス社 (旧パナソニック株式会社 松下電器産業株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック (旧日立株式会社日立ハウステック)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
	富士工業	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。)
上面操作一口電気こんろ※1	サンウエーブ工業	HT-1290, HT-1500
	日立アプライアンス	HT-1290, HT-1290T, HT-1500
複数口電気こんろ※2	サンウエーブ工業	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T
	東芝ホームアプライアンス (旧東芝株式会社 東芝コンシューママーケティング株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニックアプライアンス社 (旧パナソニック株式会社 松下電器産業株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2308, HNT-2200 (※3), NK-2201, NK-2202, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立アプライアンス	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS
	富士工業	FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1, 小形キッチンユニット (冷蔵庫付タイプ・扉仕様タイプ等もあります) に組み込まれています ※2, 据置き型・ビルトイン型があります ※3, ブランド名はHEC

上記電気こんろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟キッチンユニットメーカー (五十音順)】

クリナップ株式会社、三協立山アルミ株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社、エコソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先 (五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こんろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社

0120-126-174 <http://cleanup.jp/>

三協立山アルミ株式会社

0120-202-436 <http://www.sankiyoteyama-al.co.jp/>

タカラスタンダード株式会社

0120-200-805 <http://www.takara-standard.co.jp/>

東芝ホームアプライアンス株式会社

0120-668-401 <http://www.toshiba.co.jp/tha/>

株式会社ハウステック

0120-524-852 (旧日立株式会社日立ハウステック) <http://www.housetec.co.jp/>

パナソニック株式会社 アプライアンス社

0120-391-391 (旧パナソニック株式会社 松下電器産業株式会社) <http://panasonic.co.jp/>

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

0120-116-484 (旧パナソニック株式会社 松下電器株式会社) <http://panasonic-denko.co.jp/>

日立アプライアンス株式会社

0120-256-557 <http://www.hitachi-ap.co.jp/>

富士工業株式会社

0120-500-621 <http://www.fjic.co.jp/>

三菱電機株式会社

0120-099-506 <http://www.mitsubishielectric.co.jp/>

株式会社 LIXIL

0120-190-530 (旧サンウエーブ工業株式会社) <http://www.sunwave.co.jp/>

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報は、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会 0120-355-915 メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp

<http://www.denki-konro.jp/>



J

○有限会社アップルジャパンホールディングス(現 Apple Japan 合同会社)が輸入した携帯型音楽プレーヤー

今年度、5件(いずれも火災)の重大製品事故報告を受けています。

上記製品については、バッテリーセル部に製造上の不具合があったために、充放電を繰り返すうちにセル内部の絶縁部が劣化し、バッテリーが内部短絡を起こし過熱するおそれがあることから、平成20年から無償交換が行われています。

本製品の無償交換の対象台数は、1,812,000台です。

対象製品をお持ちの方は、直ちに下記の輸入事業者にお問い合わせください。

- ・製品名：携帯型音楽プレーヤー“iPod nano”（第一世代）
(対象製品の型番等は、下記をご覧ください。)
- ・輸入事業者：有限会社アップルジャパンホールディングス
(現 Apple Japan 合同会社)
- ・連絡先
ホームページ：http://www.apple.com/jp/support/ipodnano_replacement/
電話：0120-27753-5 (9:00～17:00、土・日・祝祭日を除く)
- ・販売時期：平成17年9月から平成18年12月
- ・対象の機種（型式名）
MA004J/A
MA005J/A
MA099J/A
MA107J/A

図3. 対象となる製品の概観



前面が白黒のプラスチック、背面が銀色の金属でできています。

※これより後の世代の iPod nano は前面/背面共に金属製です。

2. 事故情報データベースシステム^{※3}に寄せられた情報から

事業者により回収・無償修理が行われていながら、平成 24 年度に 50 件以上の事故が発生し、事故情報データベースシステムに情報が寄せられたものは次のとおりです(平成 24 年 12 月 28 日登録分まで)。

※3 消費者庁が独立行政法人国民生活センターと連携し、関係機関より「事故情報」「危険情報」を広く収集し、事故防止に役立てるためのデータ収集・提供システムです。

○ヤマトプロテック株式会社が製造したエアゾール式簡易消火具

今年度、事故情報データベースシステムには、重傷などの重大事故になっていませんが、当該製品が破裂し、液剤が室内に飛び散り汚損した、壁や天井等が破損した等の申し出が 54 件寄せられています。

上記製品は、缶内面の腐食による液漏れや亀裂破裂のおそれがあることから、平成 19 年から回収が行われています。

本製品の回収・廃棄率は、平成 24 年 11 月 30 日時点で、約 70% (対象個数 184,000 個) です。

対象製品をお持ちの方は、直ちに下記の製造事業者にお問い合わせください。

- ・製品名：エアゾール式簡易消火具 ヤマトボーイKT、FMボーイk
(対象製品の製造ロット番号等は、下記をご覧ください。)
- ・製造事業者：ヤマトプロテック株式会社
- ・連絡先：0120-801-084 (9:00～17:00、土・日・祝祭日を除く)
072-361-2101 (夜間ダイヤル、平日 17:00 以降及び土・日・祝祭日)
- ・販売時期：平成 13 年 11 月～平成 14 年 7 月
- ・ホームページ：<http://www.yamatoprotec.co.jp/index.php?id=80>

図 4. 回収対象製品の製造ロット番号等

■対象商品		【ヤマトボーイKT】		【FMボーイk】		■対象商品以外	
製造ロット番号	品質保証期間	製造ロット番号	品質保証期間	製造ロット番号	品質保証期間	キャップと安全ロックが付いている商品は対象外です。ご安心ください。	
	KO331	2005.01		KN301	2005.02	 <p>製造ロット番号と品質保証期間は、缶底に表示しています。 例えば、2005年10月に品質保証期間が過ぎる場合、以下のように記載されています。</p> <p>2005.10</p>	
	KO331	2005.02		KN322	2005.02		
	KN326	2005.02		KD319	2005.03		
	KD317	2005.03		K1425	2005.04		
	K1426	2005.04		K2408	2005.05		
	K2407	2005.05		K2421	2005.05		
	K2420	2005.05		K3406	2005.06		
	K3407	2005.06		K3418	2005.06		
	K3419	2005.06		K4423	2005.07		
	K4422	2005.07		K7425	2005.10		
	K7424	2005.10					

対象商品の品質保証期間 **2005.01～2005.10**

図 5. 破裂した回収対象製品



3. 消費者安全法に基づく重大事故等の通知から

消費者庁は、火災や重傷などの重大事故等が発生した場合、消費者安全法に基づき、行政機関等から通知を受けています。そのうち、事業者により回収・無償修理が行われていながら、平成 24 年度に 5 件以上の重大事故等の通知が寄せられたものは次のとおりです(消費者安全法の重大事故等に係る公表について平成 24 年 12 月 28 日公表分まで)。

○株式会社悠香が販売した石鹼 販売名「茶のしずく石鹼」

(平成 22 年 12 月 7 月以前に販売された旧製品)

今年度、腫れ、痒み、蕁麻疹や呼吸困難の症状が出たなど 12 件の重大事故等が通知されています(通知があることが、今年度症状が出現したことを示すわけではありません)。自分の症状が当該製品に起因するのではないかと思い、医療機関を受診したところ、初めて診断が出て原因が判明したというものです。

重大事故の内容は、小麦加水分解物を含有する「茶のしずく石鹼」を使用することによりアレルギーがなかった人が小麦アレルギーとなり、小麦含有食品(うどん、パン等)を食べて体を動かした際に、突然アレルギー症状(運動誘発性アレルギー)を発症したというものです。中には、呼吸困難、意識不明などの重篤な症状を起こした事例もみられます。また、小麦製品が食べられないなどの生活への支障が出ている事例も報告されています。当該製品については、平成 23 年 5 月から回収が行われています。

なお、重大事故等以外にも、事故情報データベースシステムには、どこの病院を受診するとよいか、販売事業者の連絡先を知りたい等の申し出が今年度 500 件を超えて寄せられています。

当該製品によるアレルギー症状であるか診断できる病院は、以下のホームページから調べることができます。

◇リウマチ・アレルギー情報センター 小麦アレルギー診療可能施設

<http://www.allergy.go.jp/allergy/flour/003.html>

対象製品をお持ちの方は、直ちに下記の販売事業者にお問い合わせください。

- ・製品名：「茶のしずく石鹸」
(平成 22 年 12 月 7 日以前に販売された小麦加水分解物含有の旧製品)
- ・販売事業者：株式会社悠香
- ・連絡先：0120-11-22-66 (9:00～20:00、土・日・祝祭日を除く)
- ・販売時期：平成 16 年 4 月～平成 22 年 12 月 7 日
- ・ホームページ：<http://www.yuuka.co.jp/>

図 6. 対象となる製品の確認方法

①箱入りの石鹸の場合

外装正面向かって右側面の数字が 1999 以下のものが対象製品。



②袋入りの石鹸の場合

袋の裏面の数字が 1999 以下のものが対象製品。



《参考情報》消費者庁リコール情報サイトのお知らせ

消費者庁では、無償改修・回収等が行われている消費者向けの製品について、リコール情報サイトを開設し、情報を提供しています。身の回りに該当製品がないか確認してください。

また、リコール品の新規登録情報を「全体」、「高齢者等」、「子ども」の分類で、受信することができるリコール情報メールサービス登録も行っています。併せて御利用ください。

消費者庁リコール情報サイト

PC から <http://www.recall.go.jp/> 携帯から <http://www.recall.go.jp/m/>

リコール情報メールサービス登録アドレス

<http://www.recall.go.jp/service/register.html>

本件に関する問合せ先

消費者庁消費者安全課 河岡、須藤、渡邊

TEL : 03(3507)9137 (直通)

FAX : 03(3507)9290

HP : <http://www.caa.go.jp/>